

「個別施設計画」の詳細は、市公式ホームページへの掲載や各対象施設に備え付けています。また、計画の概要版は市役所財政課・各地区公民館でご覧いただけます。
<https://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/7/>



■施設整備の基本方針

●基本方針

「公共施設等総合管理計画」で提示した基本方針を基に、

- ◆総量および規模の適正化を目的とした施設の再配置を実施しつつ、
- ◆将来にわたって継続して利用する施設については施設の長寿命化を推進することで、施設整備にかかる財政負担の軽減や平準化を目指します。

●整備の方向性

施設の定量的な要素、定性的な要素、現況および市民アンケートの結果などを総合的に勘案し、施設評価を行った上で、個別施設ごとに今後の方向性を決めました。整備の方向性のパターンと施設数は、次のとおりです。

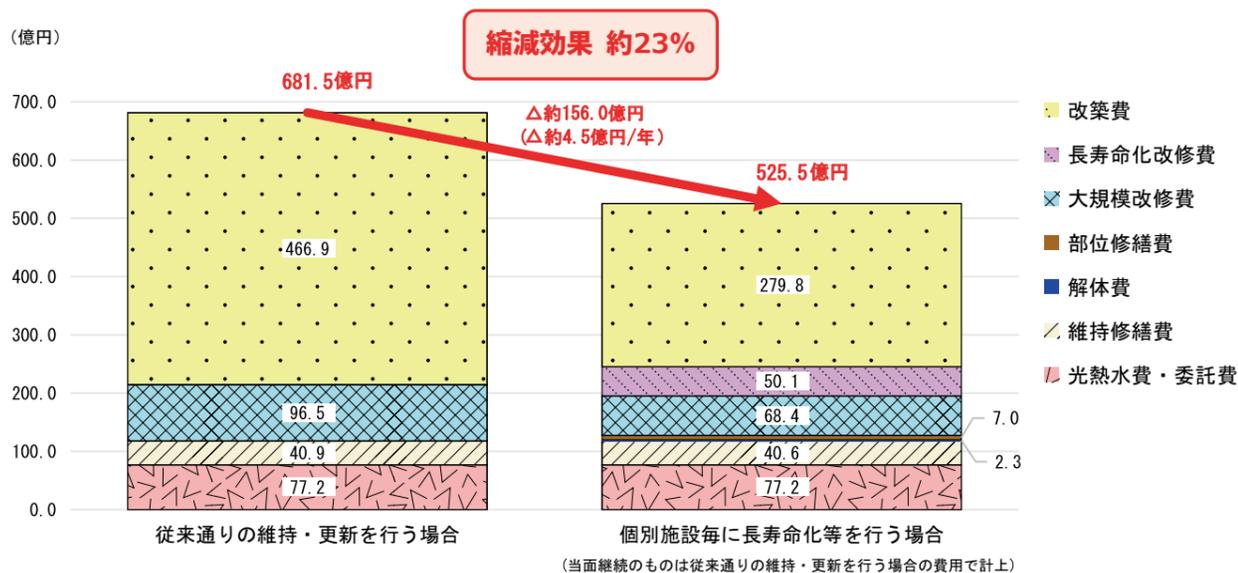
【方向性のパターンと施設数】



●整備の効果（見込み）

施設ごとに決定した方向性に基づき整備を実施すると、今後35年間で維持・更新に係る費用は総額約525.5億円となり、従来通りの維持・更新を行う場合に比べ、約23%の縮減になると見込まれます。

【今後35年間で維持・更新に係る費用の推計】 ※「公共施設等更新費用試算リフト」の工事単価を用いた概算。



本市は、平成29年3月に「白石市公共施設等総合管理計画」を策定し、人口動向や財政状況、公共施設とインフラ施設の保有・整備状況等の現状・課題を整理して分析を行い、施設全体および施設類型別の基本方針を示しました。これを踏まえ、施設の老朽度や管理状況など現状を把握・整理した上で、公共施設などに求められる安全・機能を確保しながら、効率的・効果的な再配置等を実現するため、今後の方向性、改修内容や改修時期など、個別の施設ごとに具体的な計画を策定しました。

計画期間は、公共施設等総合管理計画に基づき、令和3年度から令和37年度までの35年間です。

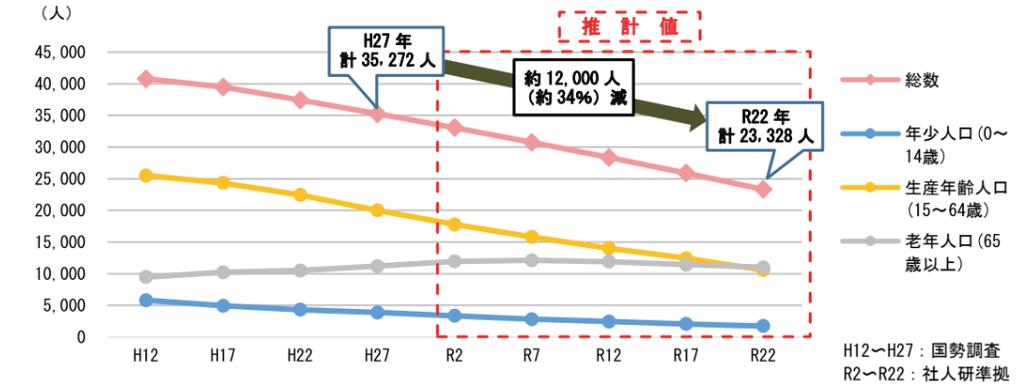
個別施設計画の目的と内容

■公共施設などの現状

●総人口・年代別人口の見通し

令和22年の人口は、平成27年と比較して約34%減少すると推測しています。

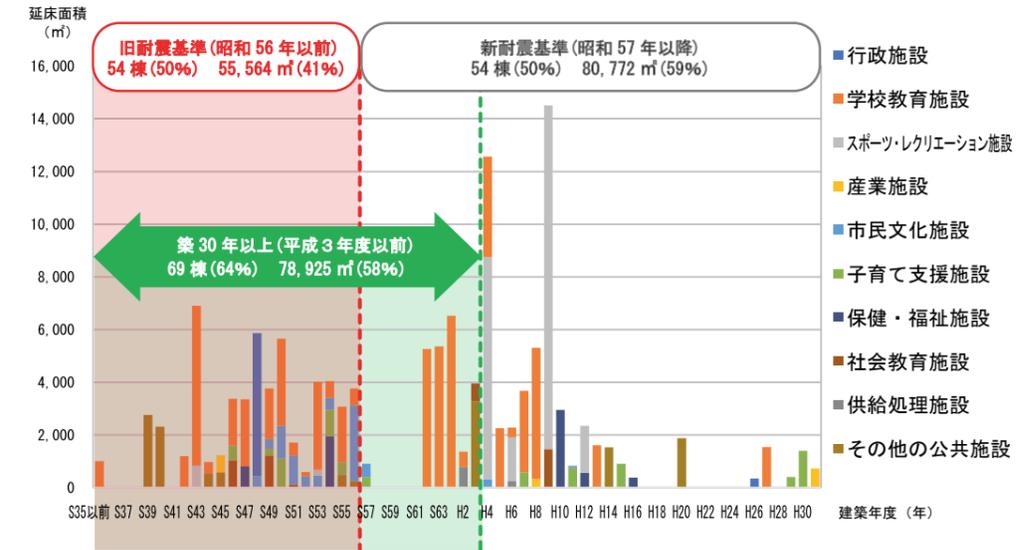
【人口の推移】



●公共施設の保有状況

計画の対象施設は75施設108棟で、総延床面積は約13.6万㎡です。うち約50%は旧耐震基準に基づき建築された建物であり、また約58%は築後30年以上経過しています。(※延床面積ベース)

【建築年度別延床面積】 (令和3年4月1日現在)



白石市公共施設個別施設計画

を策定しました

◎財政課 ☎22-1332